



---

## 2009年度 決算説明会

### イオンディライト株式会社 代表取締役社長 堤 唯見

2010年4月15日

---

## 目次

- § 1 業績結果
- § 2 合併の概要
- § 3 総合FMS事業について
- § 4 新生イオンディライト中期計画の概要
- § 5 参考資料

## § 1 業績結果

### 2009年度決算のポイント

#### 経営成績

単位：百万円

	2009年度	売上比 (%)	2008年度	前年比 (%)
売上高	140,299	100.0	145,690	96.3
営業利益	9,970	7.1	9,946	100.2
経常利益	9,912	7.1	9,812	101.0
当期純利益	5,466	3.9	4,876	112.1

#### 事業セグメント別売上高

単位：百万円

	2009年度	構成比 (%)	2008年度	前年比 (%)
施設管理事業	41,666	29.7	42,253	98.6
警備保安事業	34,281	24.4	36,670	93.5
清掃事業	45,050	32.1	42,403	106.2
建設施工事業	13,889	9.9	18,515	75.0
その他	5,412	3.9	5,846	92.6
合計	140,299	100.0	145,690	96.3

# (要約)連結貸借対照表 連結キャッシュフロー計算書

連結貸借対照表

単位:百万円

	2010年 2月28日現在	2009年 2月28日現在	増減額		2010年 2月28日現在	2009年 2月28日現在	増減額
流動資産	30,026	30,150	▲124	流動負債	16,281	20,131	▲3,849
固定資産	18,644	18,885	▲240	固定負債	1,024	824	199
有形固定資産	2,741	2,602	139	負債合計	17,306	20,956	▲3,650
無形固定資産	11,924	12,623	▲698	純資産合計	31,364	28,079	3,284
投資等	3,977	3,658	319	負債・純資産合計	48,670	49,035	▲365
資産合計	48,670	49,035	▲365				

連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	2009年度	2008年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,031	6,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,966	▲2,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,169	▲5,255
現金及び現金同等物の増減額	902	▲687
現金及び現金同等物の期首残高	6,970	7,657
現金及び現金同等物の期末残高	7,873	6,970

### 営業活動CF

税引前当期純利益	101.3億円
仕入債務支払	▲19.8億円
法人税等支払額	▲42.3億円

### 投資活動CF

有形固定資産取得	▲7.9億円
関係会社消費寄託の返還額	▲5.0億円

### 財務活動CF

長・短期借入金減少額	▲17.1億円
将来債権流動化資金減少額	▲15.0億円

AEON delight 

## 2009年度の振り返り (成長のマネジメント)

### 外部営業

- ・ グループ外の受託物件数拡大
- ・ 大手企業の地域一括受託を推進
- ・ 御用聞き運動で、お客さまの潜在ニーズに対応

### 環境事業

- ・ 環境負荷低減と光熱費削減の提案を推進
- ・ 改正省エネ法に対応する新サービス「Ad-TEMS」開始
- ・ イオン×京セラ提携をソーラー事業部がバックアップ

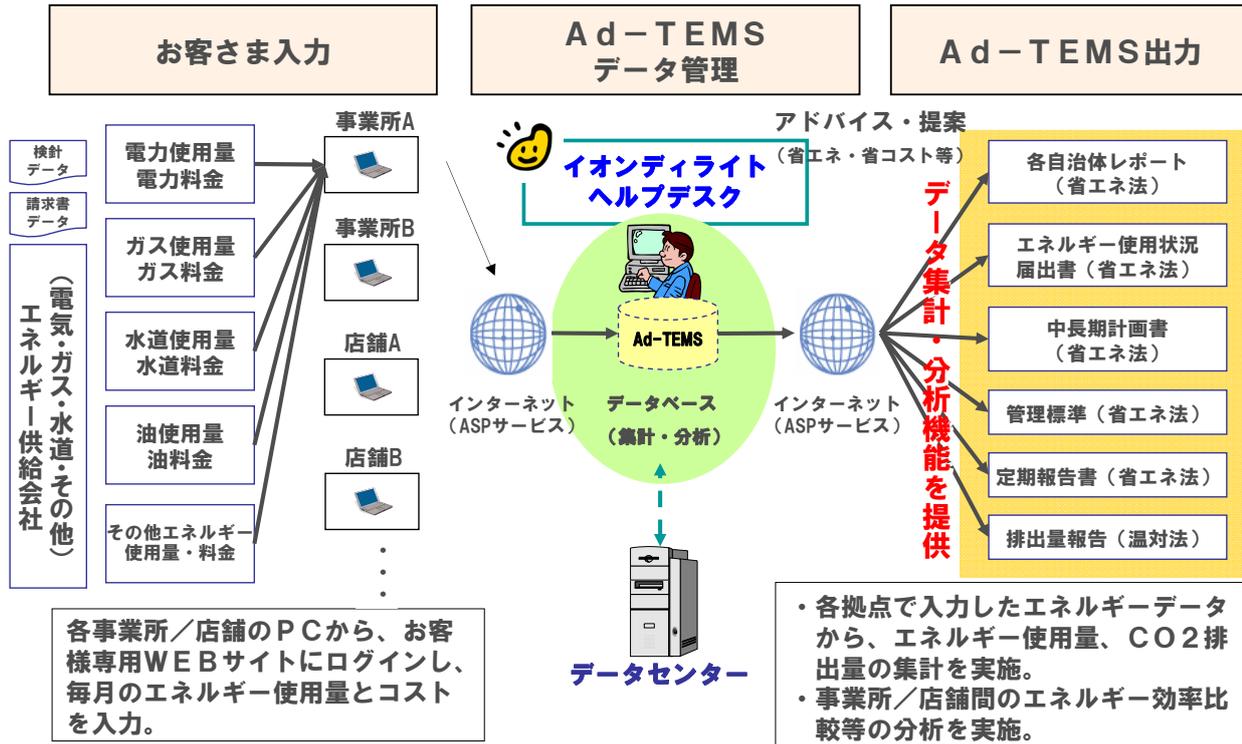
### 海外事業

- ・ 華北・華南地区での基盤構築に向け、  
広東分公司・天津分公司を設立
- ・ 天津、北京2号店の10年度オープンに向け準備
- ・ ベトナムを始めASEAN地域も視野に

AEON delight 

# Ad-TEMSの概要

“Ad-TEMS” 導入による、入力から出力までの流れ



※本システムは、日本ファシリティ・ソリューション株式会社が提供する@エナジーサービス (バージョン20091224\_01) を利用しております。

## 海外事業の成長

### 海外事業の拡大

- 広東と天津に分公司を設立
  - ➔ 2010年6月、順徳でサービス開始
  - ➔ 2010年秋、天津でもサービス開始

- 中国全土への拡大
- 商業施設へ意識が高まる CO2削減提案を推進



今後はASEAN諸国への展開を推進  
早期に100億円のビジネスに！

## 2009年度の振り返り（品質のマネジメント）

### 業務効率化

- 清掃事業のコア化を推進し、生産性が1割向上
- 全国61の清掃直営店舗で利益率改善を実現
- 施設管理事業の新たなモデル構築に着手

### 働き方改革

- 働き方改革による社内コストの見直し
- 所定外労働時間を大幅に圧縮
- 本社・支社部門の効率化を実施

### 教育投資

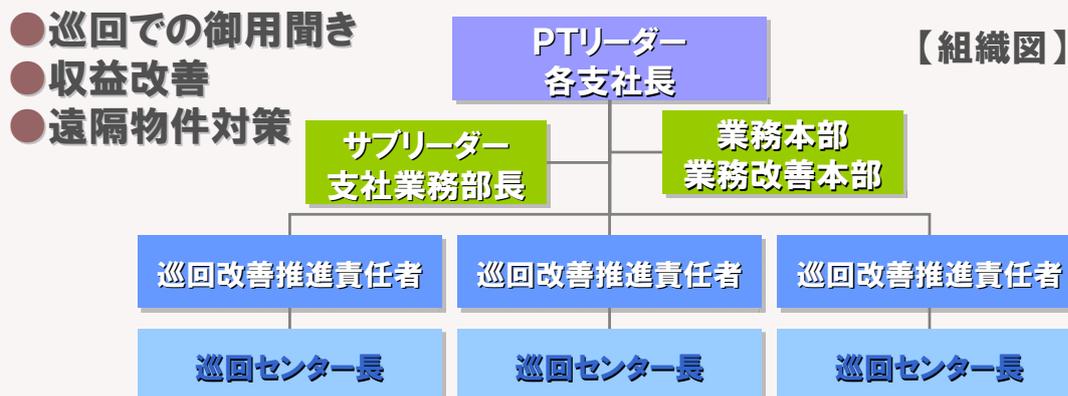
- 「イオンディライトアカデミーながはま」を開設
- サービス業の「規格化」「標準化」「省力化」を推進を目指す
- 「産・官・学」連携によるサービスサイエンスの探究

## 業務効率化 ～施設管理事業の新たなモデル構築～

### “巡回型ビジネスモデルの構築”

- “大型施設”から“小型施設”へのシフト
- ADグループ企業との連携、コールセンター機能の強化
- 巡回の収益性向上に向けては、  
→ ワークスケジュールの徹底や巡回ルート最適化、IT機器の導入

### “巡回センター効率化推進PT”を発足（2月中旬までに発足）



## イオンディライトのサービスサイエンスの拠点



- ・ 年間延べ15,000人の研修プログラム
- ・ ソーラーパネル設置技術者の育成
- ・ 有資格者育成に向けた取組み
- ・ 産・官・学と連携した次世代技術の研究

サービス産業のスタンダード創造を目指します

## §2 合併の概要

## 合併の背景

欧米のグローバル企業で進む  
コア事業への集中が、国内でも加速

ノンコア業務をアウトソースすることで、  
競争力の向上を目指す動き

アウトソースプロバイダの効率的な管理を目的に、  
一括アウトソースの導入

日本における一括アウトソースという  
新たなビジネス創出のチャンス

## 合併のスケジュールと合併比率

### スケジュール

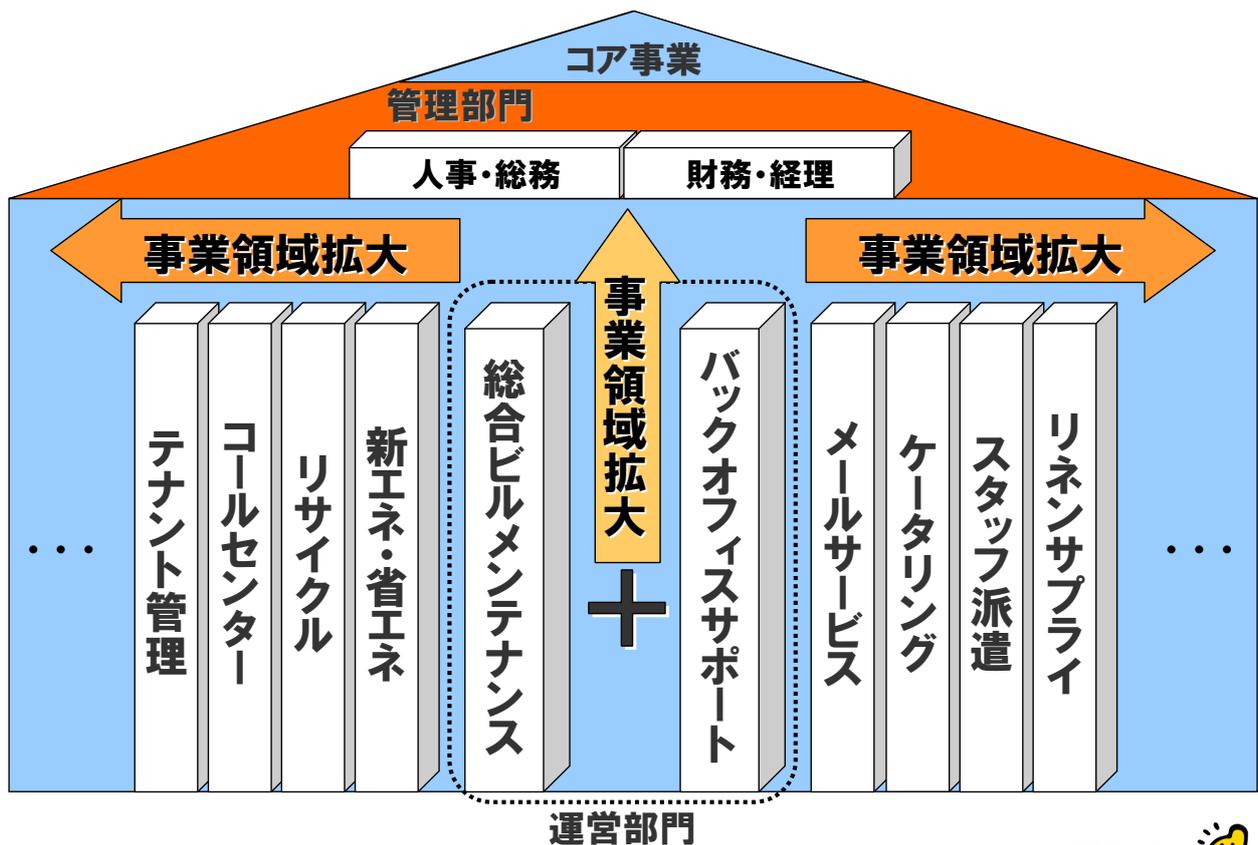
合併決議取締役会	2010年3月25日
合併契約締結	2010年3月25日
合併承認株主総会	2010年5月20日（予定）
合併予定日	2010年9月1日

	イオンディライト 存続会社	チェルト 消滅会社
合併比率	1	1.3

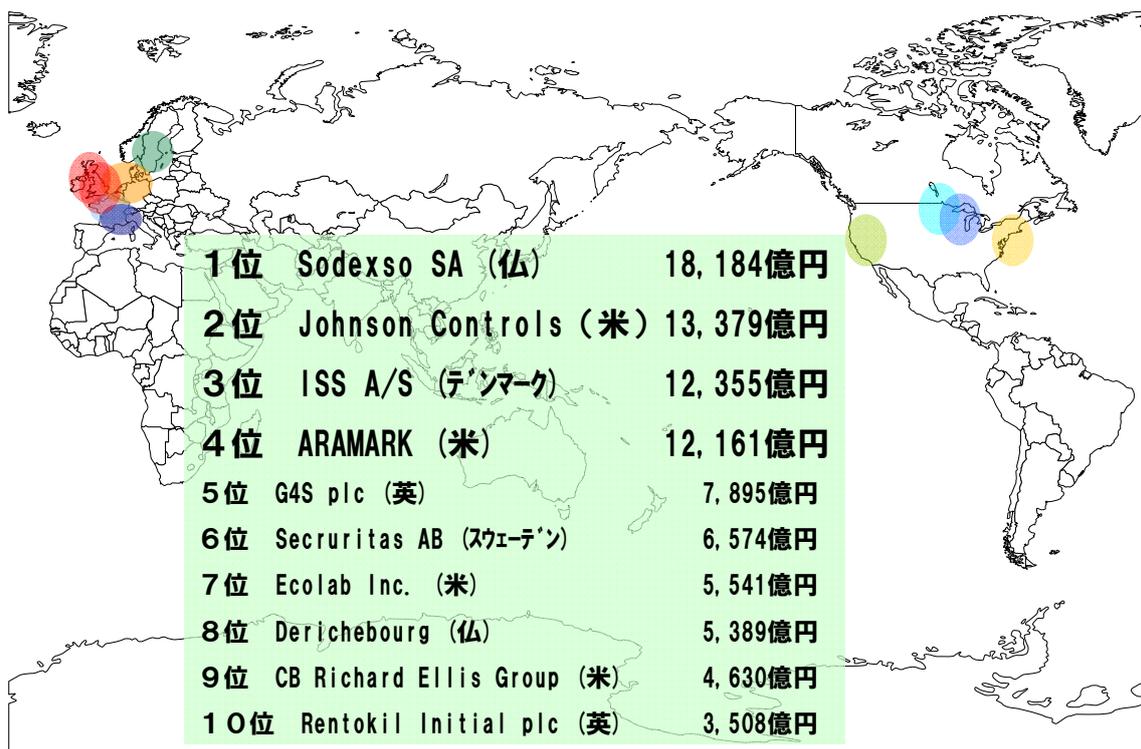
円滑な統合と早期のシナジー創出に向け  
経営統合推進委員会を設置

### §3 総合FMS事業について

#### 総合FMS事業とは



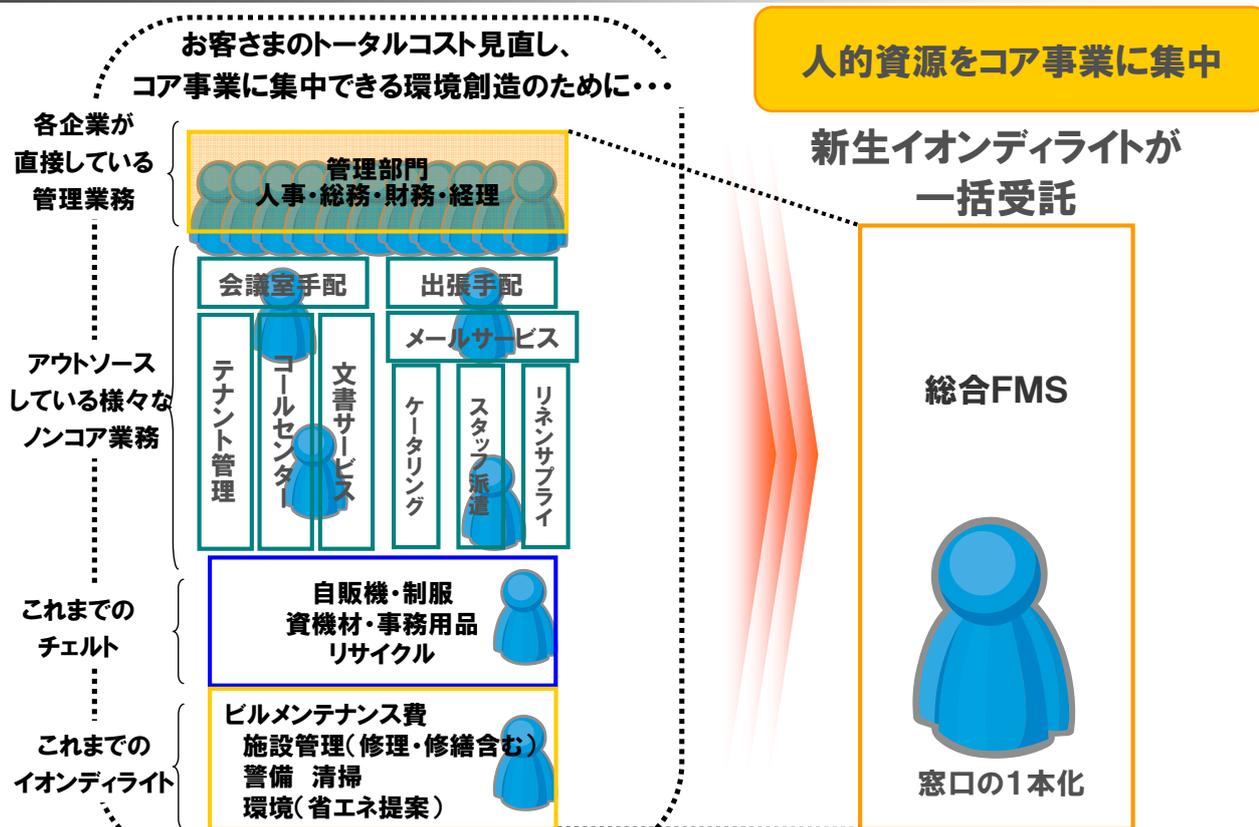
# グローバルFM企業ランキング TOP10

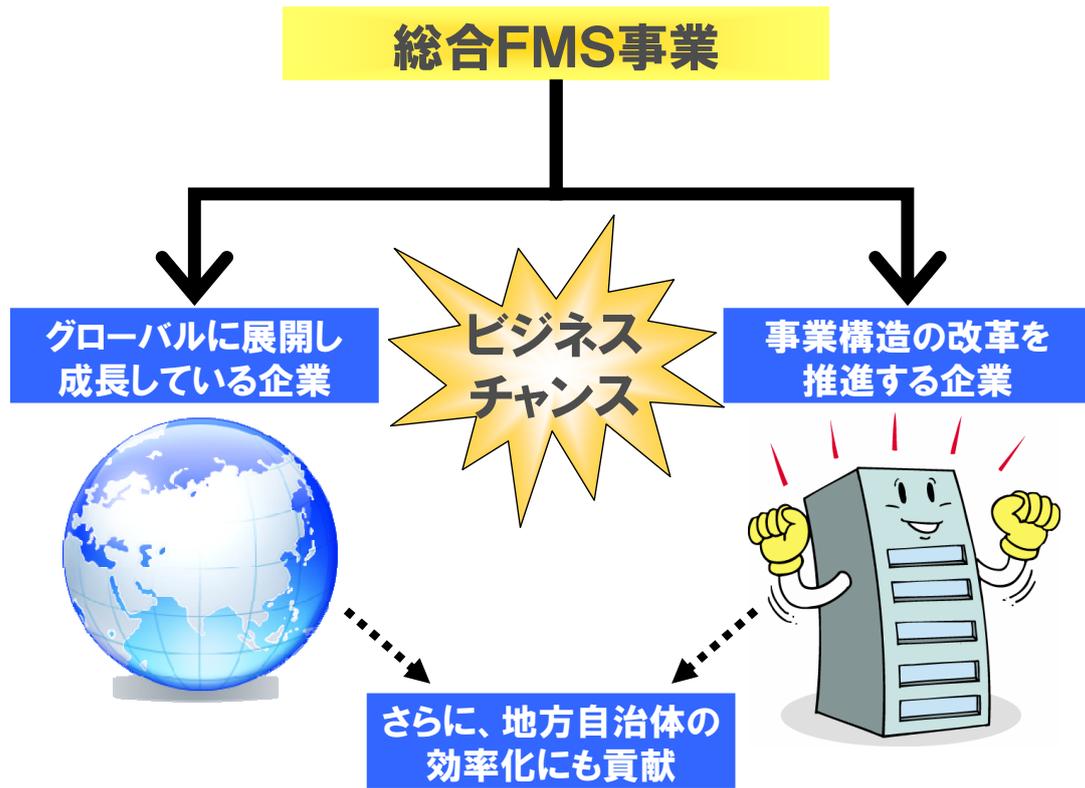


為替レートは ¥100 ≒ \$92US ≒ €130 (2008/12/30)



## 総合FMSによるコスト見直しの例



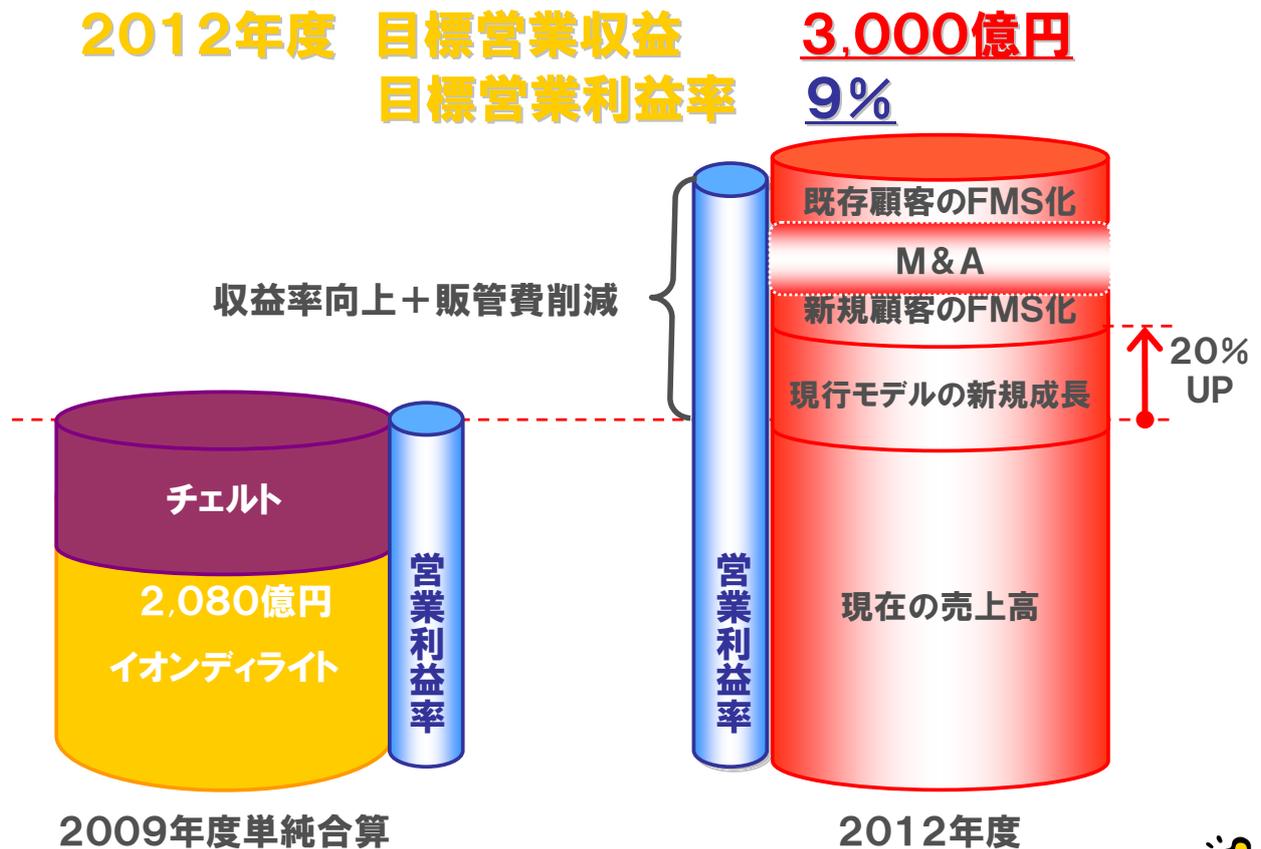


§4 新生イオンディライト中期計画の概要

# 総合FMS事業の事業戦略



## 新生イオンディライト ~中期経営目標~



# 2010年度業績予想

単位:百万円

	2010年度第2四半期予想			2009年度第2四半期	
	金額	売上比 (%)	前期比 (%)	金額	売上比 (%)
売上高	73,000	100.0	100.2	72,856	100.0
営業利益	5,000	6.8	102.4	4,882	6.7
経常利益	5,000	6.8	102.9	4,857	6.7
当期純利益	2,600	3.6	100.3	2,591	3.6

単位:百万円

	2010年度通期予想				2009年度実績	
	金額(※1)	売上比 (%)	前期比 (%)	参考前期比 (%)	金額(※2)	売上比 (%)
売上高	181,000	100.0	129.0	104.4	173,434	100.0
営業利益	12,050	6.7	120.9	107.9	11,164	6.4
経常利益	12,105	6.7	122.1	108.7	11,133	6.4
当期純利益	6,470	3.6	118.4	104.4	6,199	3.6

※1)2010年度イオンデライト株式会社通期予算と2010年度チェルト株式会社の下期予算を単純合算しております。

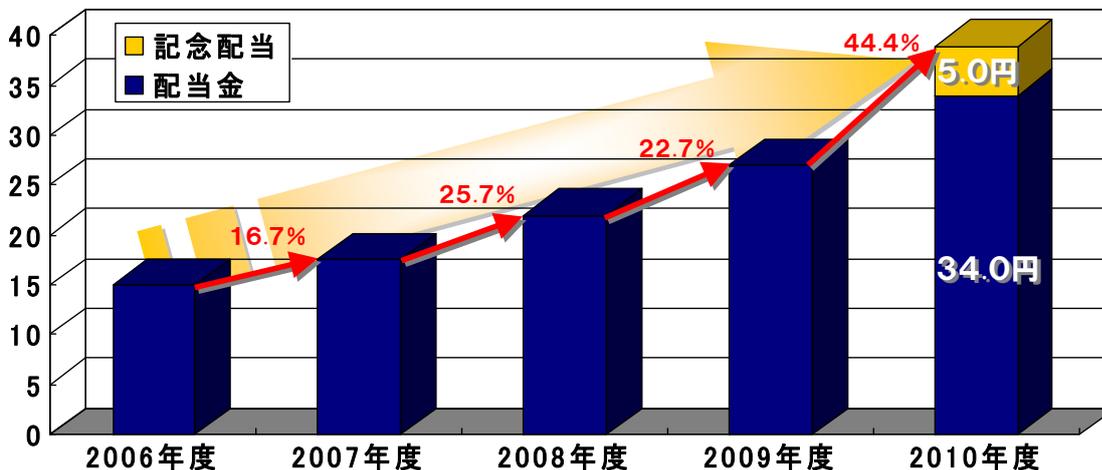
※2)2009年度イオンデライト株式会社通期実績と2009年度チェルト株式会社の下期実績を単純合算しております。



## 株主還元

### 誕生以来5期連続の増配を目指します

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 予想
配当額	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	<b>39.0円</b>



※2011年2月期(予想)の期末配当には、2010年9月1日付のチェルト株式会社との合併について株主総会の承認を前提として、記念配当5.00円を含んでおります。



## §5 参考資料

### (ご参考) 損益推移・大株主の状況

#### 1. 損益推移

単位:百万円

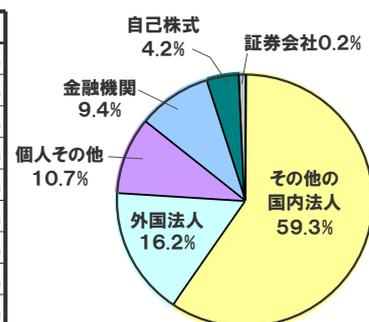
	2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		2010年度予想	
	実績	売比(%)	実績	売比(%)	実績	売比(%)	実績	売比(%)	予想	売比(%)
売上高	111,170	100.0	137,519	100.0	145,690	100.0	140,299	100.0	181,000	100.0
営業利益	5,576	5.0	8,330	6.1	9,946	6.8	9,970	7.1	12,050	6.7
経常利益	5,485	4.9	8,186	6.0	9,812	6.7	9,912	7.1	12,105	6.7
当期純利益	2,998	2.7	4,379	3.2	4,876	3.3	5,466	3.9	6,470	3.6

#### 2. 大株主の状況(上位10社)

所有比率は発行済株式に対する比率です。

順位	株主名	所有株式数	所有比率
1	株式会社マイカル	23,261,800	56.2%
2	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,230,200	5.4%
3	自己株式	1,729,838	4.2%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,006,500	2.4%
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	622,400	1.5%
6	イオンディライト従業員持株会	619,000	1.5%
7	イオン株式会社	560,800	1.4%
8	資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	512,900	1.2%
9	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	398,700	1.0%
10	イオンディライト取引先持株会	309,300	0.7%

#### 3. 所有者区分(比率)



(ご参考) 経営指標

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
EPS(一株当り当期純利益)	151.17円	110.39円	※122.92円	137.79円
ROE(自己資本当期純利益率)	16.85%	21.03%	19.89%	18.91%
ROA(総資産当期純利益率)	7.62%	9.17%	10.11%	11.19%
売上高経常利益率	4.93%	5.95%	6.74%	7.06%
売上高当期純利益率	2.70%	3.18%	3.35%	3.90%
総資本回転率	2.83回	2.88回	3.02回	2.87回
自己資本比率	39.87%	47.43%	54.15%	64.22%
1株当り純資産	966.41円	566.87円	※669.28円	787.84円
PER(株価収益率)	20.51倍	19.79倍	10.29倍	8.83倍
PBR(純資産倍率)	3.21倍	3.85倍	1.89倍	1.54倍
(ご参考)期末株価	3,100円	2,185円	1,266円	1,216円

※印は株式分割後の指標で表示しております。



本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。  
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載

◇記載金額は百万円未満を切り捨て

◇比率は小数点第2位を四捨五入

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

イオンディライト株式会社  
(証券コード:9787)

IR担当連絡先

部署名:ディライトコミュニケーション部

責任者名: 指江(サシエ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2010年4月15日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。

